

# 動労千葉 決戦ストライキ

1981年3月  
ジェット燃料  
延長阻止闘争



大量報復処分を許すな

●1981年3月ジェット燃料延長阻止闘争

# 動労千葉 決戦ストライキ

---

三月決戦ストライキへの不当処分に抗議する……	2
動労千葉千三百はたたかいぬく 関川 幸……	4
日本全国をわが手でゆるがさん ドキュメント2.18~3.6……	6
労農連帯の路線を闘いの基軸にすえて インタビュー 中野 洋……	16
三里塚と人民の未来をかけて 動労千葉は主張する……	20

---



---

三里塚農民は動労千葉と共に闘う 三里塚芝山連合空港反対同盟の声…… 32

---

動労千葉を讃える 岩井章 武谷三男 高島喜久男ほか…… 36

---

資料 「日刊動労千葉」ほか…… 42

---

「動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金」の運動を訴える… 46

---

動労千葉闘争年表

---



# 三月ストライキへの 不当処分に抗議する

## — 動労千葉の訴え



国鉄当局は本日午前二〇時、わが国鉄千葉動力車労働組合が、閣議決定までも一方的に反古にした理不尽かつ不法な、三里塚空港ジェット燃料暫定貨車輸送期限延長に抗議し阻止すべくたたかった三月ジェット決戦ストライキにたいし、公労法による解雇四名を含む二二五名の大量不当処分を発表した。

われわれは、この大量不当処分を断じて許すことなく、怒りをこめて抗議し断罪する。

この大量不当処分の発表は、三月ジェット決戦ストライキが労働組合の本来のたたかいとして、体制的危機にあえぎ、軍事大国化・八三年憲法改悪の超反動的攻撃をもって延命せんとする政府・独占の存立基盤を揺がすものであったがゆえに、「動労千葉をつぶせ」と階級的憎悪をこめた政府、国鉄当局の八〇年代治安政策にたつた反動姿勢を示すものである

それは、塩川運輸相が「動労千葉に厳重な処分を」と発言し、自民党労働部会

が国鉄当局に大量処分を申し入れたことで明らかである。

それゆえに、動労千葉と三里塚芝山連合空港反対同盟が営々と築きあげてきた労働連帯を分断破壊し、八〇年代労働運動の戦闘的再生を強権をもって圧殺せんとする異常かつ政治的報復処分である。

さらに、動労千葉が国鉄当局秋山差別労政による動労「本部」革マル反動分子一体となった反動的弾圧―スト破り攻撃を粉砕し、総武・房総全線でストライキ

を貫徹し、ジェット燃料貨車輸送を五日間、三十本を完全にストップし労働連帯を大衆的実力闘争でたたかい抜いたことに対する政府・国鉄当局の国鉄労働運動史上類例のない組織破壊を狙った理不尽極まる報復の大量不当処分であることは明らかである。

しかも、「ストなし春闘」策動に抗してふたたび動労千葉が八一春闘を「生活防衛・反合・三里塚春闘」として位置付け決起せんとする矢先のこの大量不当処分攻撃は、賃金抑制、合理化攻撃のもとに屈服せよとせまる許されざる攻撃であり、国鉄労働運動はもとより日本労働運動にたいする重大な挑戦である。

われわれは、この邪悪な意図をもった空前の大量報復不当処分攻撃を断じて許さず、三里塚と日本労働運動の勝利、動労大改革を掲げ、反処分闘争を起点に、八一春闘勝利、国鉄三五万人体制攻撃粉砕、第二・第三の三月ジェット決戦貫徹へむけ断固としてたたかい抜く決意である。

われわれは、このたたかいに必らず勝利する確信に燃えている。

三月ジェット決戦ストライキを軸とした、三里塚芝山連合空港反対同盟をはじめとする全国の労働者人民の陸続たる決起はわれわれにそれを告げ知らせてくれた。

政府・国鉄当局は、われわれのこの大量不当処分への怒りの深さと大きさを知るべきである。

われわれは、一九五七年国鉄新潟闘争の教訓を発展継承させ、四月六日を期してあらゆる戦術を駆使し、長期強じん創意あふれたたたかひをもって、政府・国鉄当局に対し抗議・徹回のたたかひに決起する。

そのことによって生ずる一切の責任はあげて政府・国鉄当局にあることを明らかにしておく。

一九八一年四月三日

国鉄千葉動力車労働組合



# 動労千葉千三百は たたかぬく

国鉄千葉動力車  
労働組合委員長 関川 宰

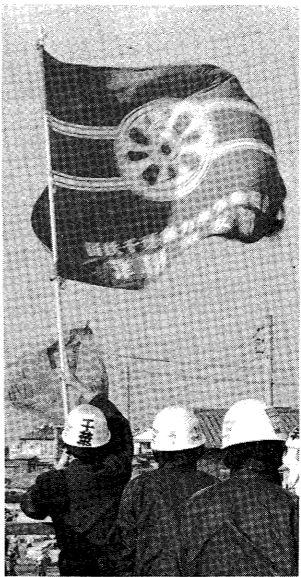


四月三日、国鉄当局は、動労千葉の三月ジェット燃料貨車輸送阻止のストライキ闘争にたいして、まったく不当にも、解雇四名、停職七名を含む二二五名という大量報復処分を発表しました。

この処分は、じつに許すことのできない不当な処分です。われわれが、今年三



月の理不尽なジェット燃料貨車輸送延長にたいして、労働者の立場、地域に住む千葉県の住民として反対するのはあたりまえの話です。この正当なストライキ闘争にたいして、商業新聞も「異例に厳しい処分」と書かざるをえないような大量報復処分をだしてきたことは怒りにたえません。とくに、動労中央が、この問題について、労働組合でありながら国鉄当局や政府の側になつて、動労千葉にもつと重い処分をせよといっていることになつては言語道断であります。



これにたいして、われわれは、毅然とした態度で抗議闘争にたちあがり、はねかえす運動を展開しています。動労千葉は、たたかうだけたたかなくなってしまふようなことでは何ものならないと思っています。処分をはねのけ、動労千葉一三〇〇がより団結を強め、つよい組織となつてゆくことこそがわれわれの任務

## 第5回動労千葉臨時大会



だと思いません。

今回の三月ジェット決戦は、いままで三里塚闘争と連帯してたたかいてきたことの集大成のたたかいです。動労千葉は、労農連帯、それを貫いていく労働組合の基本的立場、そして右傾化してい

く労働運動のなかで自分たちの利益のためだけでなくより広い見地になつてたかたっていくんだという目標のもとに、単に五日間のストライキをやるだけでなくその前から多くの場で支援連帯の輪を拡げ、五五・一〇ダイヤ改正問題、運用合

理化、さらに昨年の布施副委員長にたいする解雇処分粉砕のたたかいを通じてたたかう体制づくりをやってきました。ですから、暫定貨車輸送期限切れという今年三月は、動労千葉にとつてまさに決戦の場であつたと考えています。

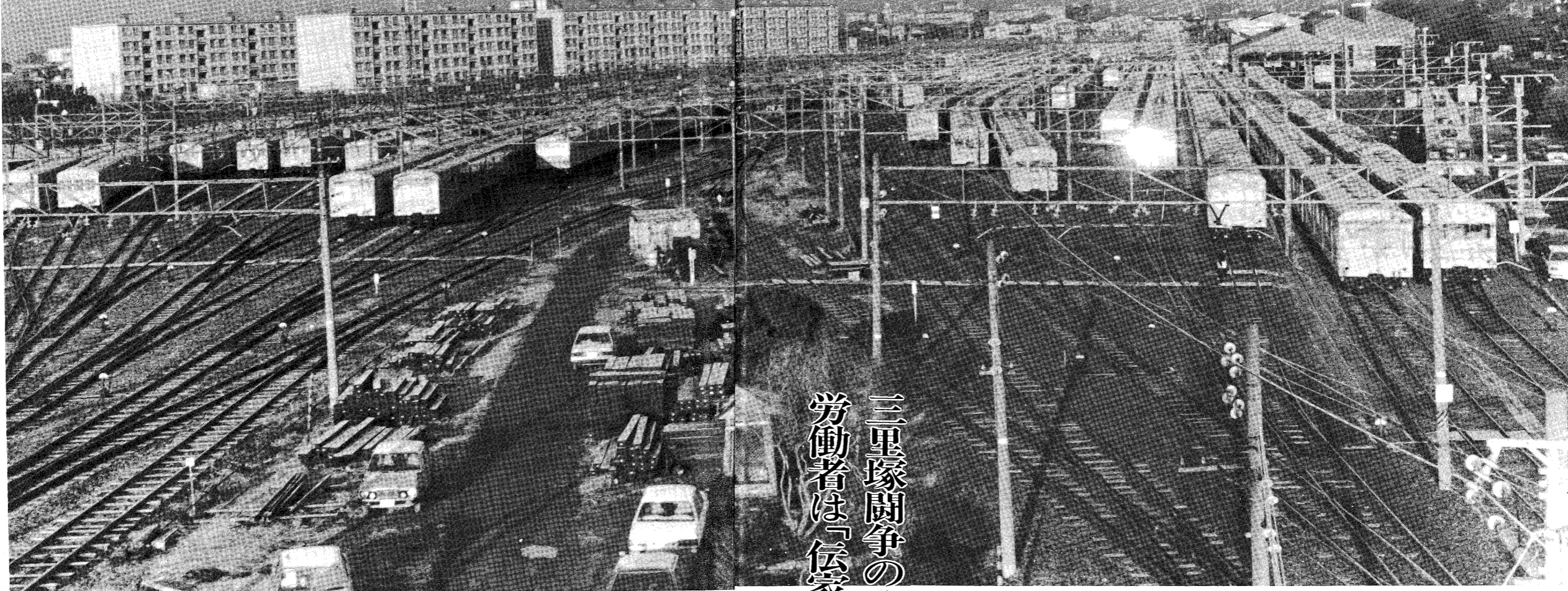
あらかじめスト破りの助役機関士を導入し、その線見訓練阻止闘争にたいしては、当局の職制や公安機動隊を大量に導入してきました。そして、乗務についている機関士を機関車からひきずりおろすというような、国鉄史上はじめて以来の暴挙をあえて行つてきたのです。これをみて、年配の組合員は「まるでマル生当時のようだ」といったほどでした。しかし、動労千葉は、これに屈せず、逆に闘志をもえあがらせ、五日間のストライキをうちぬいたのです。

この三月、動労千葉は、思いきつて組織の全力をあげてたたかいました。三月闘争にたいする権力、国鉄当局の弾圧体制は、まさに異常ともいえる弾圧でした。

今後の労働運動のなかでは、そういう弾圧がいろいろな面でかけられてくるでしょう。その点で、われわれは、今度のたたかいで弾圧にたいする階級的警戒心を充分にもつてやっただし、組合員も大いに学んだといえます。

ドキュメント

# 日本全国をわが手でゆるがさん



三里塚闘争の勝利ひらくため  
労働者は「伝家の宝刀」をぬいた

三月ジェット闘争は、第一に、労働連帯の大義を堅持・発展させる闘いであり第二に、日本労働運動なかんずく国鉄労働運動の戦闘的再生を希求する闘いであり、第三に、動労「本部」革マル反動分子と結託した国鉄当局⇨秋山労政を打倒する闘いであった。

われわれは、この二年間の屈辱と忍耐の鎖をときはなち、満を持して、二・一九助役機関士線見阻止闘争以降三週間にわたる決戦闘争に決起し、動労千葉破壊の邪悪な野望をことごとく粉碎し、三・六総武線を中心とする全線ストップの偉大なストライキを実現した。

われわれは、労働者が怒りをもって立ち上ったとき、いかなる力を発揮するのかを反動どもにやおうなく見せつけてやった。

われわれは、労働者が正義の闘いに立ち上ったとき、裏切り者集団のみにくい姿が大衆の前にあますところなくさらけ出され、あわせて本物の労働者の連帯が獲得できることを学んだ。

ともあれ、一三〇名組合員が一致団結し、不眠不休で闘いぬいた三月ジェット闘争は、日本労働運動史上、新たな一頁を書き加えた。

一九八一年三月六日闘争集約指令より



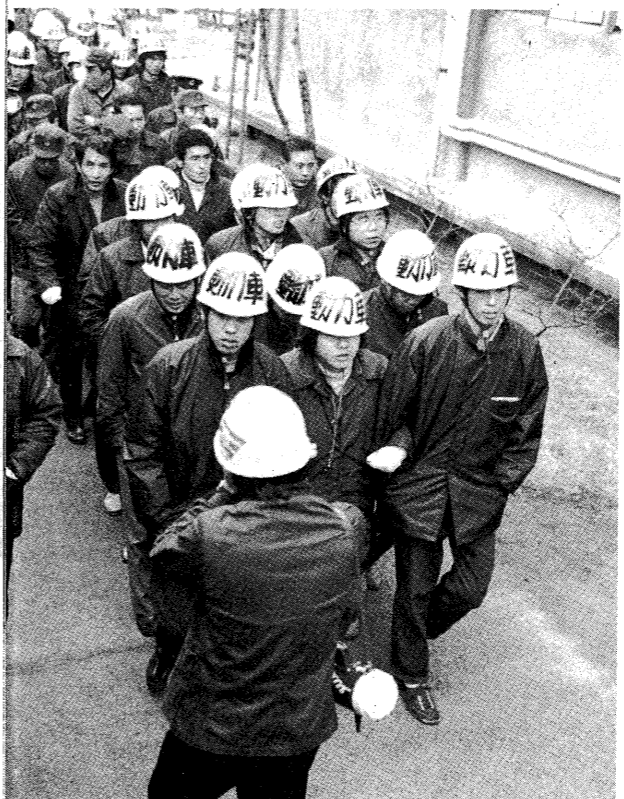
# 助役機関士線見訓練 阻止にたちあがる



2・18 当局、全国から二七名のスト破り助役機関士導入―線路見習訓練強行の方針うちだす。  
 動労千葉、反対同盟、支援共闘、千葉市中央公園に二二〇名が結集し千葉鉄道管理局に抗議闘争  
 2・19 当局、成田、佐倉で線見訓練強行。早朝六時三〇分、動労千葉は全支部から成田に六〇名佐倉に八〇名が集結し実力阻止行動。  
 成田では、動労千葉が強固なヒゲを組んで当局、助役機関士と激突。一番列車二番列車とも実力阻止。佐倉では、当局



と対峙しつつ、同時に線見訓練に卒先協力する動労「本部」派を糾弾。



成田、佐倉支部のたたかいを中心に、全支部・全線区で一週間の減産闘争突入  
 2・20 成田では動労千葉五〇名のピケ隊に職制三〇名、助役機関士、公安機動隊三〇名がつつこみ、一時間わたる激突。ことごとくこれを粉砕して勝利。

佐倉では、この日ハンドルをにぎる堀口太一支部長を先頭に二本の列車で助役機関士を阻止。「本部」派、助役機関士導入受入れ揭示。

2・21 成田では動労千葉組合員六〇名が助役機関士白腕五〇名と対峙。機関車では機関士が当局と対決。突如、当局は公安五名を運転室



に突入させひきずりおろす。日暮支部長にたいしても暴力的に排除。国鉄史上はじめての暴挙。

佐倉では六〇名の組合員が結集し「本部」派のスト破りを徹底糾弾。

当局、二・二〇成田駅ホーム上の動労千葉の阻止行動で「三名重傷」のデッチ上げキャンペーンを開始。

2・23 九日以來の減産闘争の戦術を強化、全支部B行動に突入。遅れ続出。

二二日の暴挙に怒りを燃やす動労千葉は前半三日間をはるかに上回る動員をかちとり、実力阻止行動を貫徹。

動労千葉臨時大会を開催。三・二からスト突入の三月決戦方針確立。

国労、動労中央本部、塩川運輸大臣との政労会談で「ジェット延長合意」。

2・24 動労千葉、成田、佐倉支部先頭にスト準備へ。線見阻止闘争、この日も当局、公安機動隊と激しく対決し貫徹

2・25 成田、佐倉両拠点で六日間の線見阻止闘争貫徹、六日間の激闘勝利の総括。減産闘争六日間で運休四四本、遅れ一〇九八本。

反対同盟、支援共闘会議は、六日間、成田、佐倉をはじめ県内各駅で動労千葉支援の街頭情宣。





# 成田、佐倉で燃料 列車指名ストに突入



3・1 三月スト支援全国総決起集会  
が成田市内で開かれ、動労千葉、三里塚  
反対同盟はじめ全国から九八〇〇名の労  
農学市民が大結集。  
夜には、成田、佐倉両拠点でスト突入  
前夜総決起集会。両支部、この日夜から  
職場にろう城。  
支援共闘会議も成田駅四〇〇名、佐



倉三五〇名のスト支援集会。  
3・2 動労千葉は、午前零時を期し  
て成田、佐倉両拠点でジェット列車指名  
ストに突入。次々と黒いジェット燃料貨  
車はストップ、この日、六本のジェット  
列車を止めた。  
3・3 三月決戦ストライキ第二日目  
この日は七本のジェット列車を完全にぶ  
つとめた。  
「本部」派土屋らは、助役機関士が乗  
るための機関車を配送するという大裏切  
りに走る。  
支援共闘会議は、成田、佐倉、千葉、  
津田沼駅頭で大情宣活動を展開。



# 全線区ストに突入 総武線もとまった



3・4 三月決戦  
ストライキ第三日目  
成田、佐倉での指名  
ストの続行と、スト  
破り阻止行動、全地  
上勤務者の減産B行  
動(五割減産)を展  
開。

午前三時半、当局  
はスト破り助役機関  
士導入策動を開始。  
これにたいし、国労  
千葉の組合員は、燃  
料列車掛(車掌)乗  
務の拒否に立ち、動  
労千葉とともにたた  
かう。鹿島ルート二  
番列車以降全面スト  
ップ。

支援共闘会議は、  
反対同盟先頭に成田

駅二〇〇名、滑川駅三〇〇名、久住駅七  
〇名が決起し、スト破り燃料列車阻止行  
動。成田駅では、整然とたたかう支援部  
隊五九名を不当逮捕。

3・5 三月決戦ストライキ第四日目  
成田、佐倉両拠点支部でのジェット列車  
指名ストに加え、千葉運転区、成田、勝



浦、館山各支部で、スト破り助役機関士  
導入に抗議し、特急・急行列車の指名ス  
トに突入。五四本が運休。

津田沼、千葉運転区など六支部で、六  
日の全線ストにむけて前夜総決起集会。  
3・6 三月決戦ストライキ第五日目  
始業時より、津田沼、千葉両拠点をほじ

め動労千葉の全支部・拠点で一斉に二四  
時間、全面ストに突入。総武線(快速・緩  
行)、内房線、外房線、成田・鹿島線を  
はじめ全線が完全にストップ。一三九〇  
本運休。首都圏二一〇万人、千葉県内一  
三五万人に影響。二日以来の地上勤務者  
の減産闘争(B行動)も大勝利。  
他方「本部」派は、当局に「保護願

をだし、職制・公安に守られ燃料列車を  
走らせ、スト破り「B変仕業」にのりだ  
す史上最大の裏切り。  
津田沼電車区入口で、支援共闘会議二  
四〇〇名と津田沼支部との大合流集会。  
塩川運輸大臣「配置転換を含む厳重処  
分」を当局に指示。

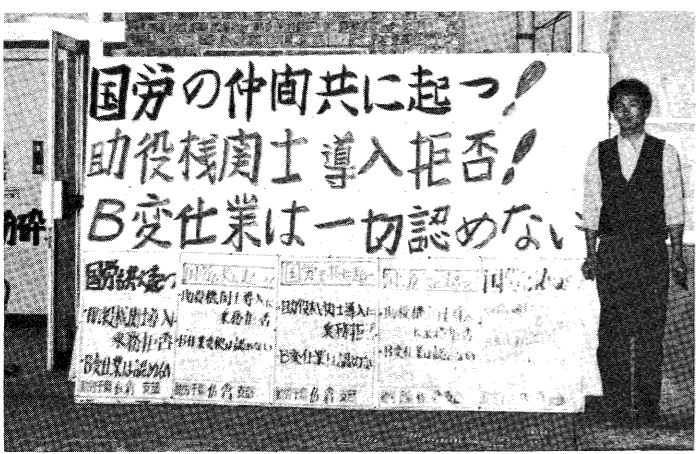
## お知らせ

大変ご迷惑をおかけいたします3月6日(金)  
国鉄千葉動力車労働組合の違法なストライキのため  
関係各線区での運転見込みは次のとおりです。  
総武線、快速・各停(黄色い電車)  
全面運休となります。  
総武線(千葉～銚子間)  
普通列車は平常の80%程度の運転見込みです。  
成田、内房、外房、東金、鹿島線  
全面運休となります。  
木原線～平常70%程度の運転見込みです。  
久留里線～所定運転の見込みです。  
特急・急行列車  
特急 335のみわかお、しお、あやめ。  
急行 内房、外房、犬吠、水郷、鹿島  
全面運休となります。





「やった」という実感が腹の底からこみあげてくる闘いだった



労働者はゼニかねでゆずれないものを持っているんだ

# 労農連帯の路線を 闘いの基軸にすえて

インタビュー

国鉄千葉動力車  
労働組合書記長

中野 洋



## 三里塚で一戦を

最初に今度の五日間のストライキをどう考えてたかったのかについてお聞きしたいと思います。

中野 具体的には三つの目標をたてました。一つは、三里塚闘争の勝利の展望



をきりひらきたいということです。この三里塚闘争のきすうによつてはやっぱり八〇年代の動向が非常に大きく変わる、三里塚闘争はここで敗北していった場合に、今後の日本はどうなっていくのかという危機感が相当強くあった。しかも二期工事着工強行も迫っている。

そのなかでやはり、三里塚闘争にほんとうに勝っていく構造を絶対につくらなくちやいかんということで、ジェット燃料延長反対をする三月に、一戦を構えなさいかんというふうに決意したということです。

二つめには、日本の労働運動の再生ということ。やはりなんとしてでもわれわれのたたかいをとおして、国鉄労働運動

をぶつたて、日本の労働運動の右傾化にくさびを打たなければいかんと考えているわけです。

三つめには、一一年前に動労「本部」から分離・独立した動労千葉の存亡のかかったたたかいだつたということです。

三月闘争は、国鉄当局と「本部」革マルの結託した攻撃をはねのけて、動労千葉がこの八〇年代を生きぬいていく、たたかひぬいていくためには、絶対になさけることのできない闘争であつた。だから動労千葉はそこに組織をかけてたたかひぬくというふうな決意をして、それを貫徹したんです。

——ストライキの総括というか、一番強く感じられていることは何ですか。

とに、そのたたかひを動労千葉のたたかひの基軸にすえて、その基軸からさまざまなたたかひをやっていくということを執ように全体化していく、大衆化していく、職場に定着させていく努力をずっとやってきましたね。

二つめは、正しいこととまちがっていることをはっきりさせて、あいまいにしないでやってきたこと、これはとくに動労「本部」とのたたかひに勝利していくうえでは重要だつた。

三つめは、徹底した組合民主主義ですね。われわれは、組合民主主義というのは、決められたことを守るべきというのではなくて、指導部と組合員大衆の徹底した討論、話し合いというものを保証していくということが根本だと思つてい

るわけです。それからもう一つは、反合理化にしても、日常の職場の要求を解決していくのにも、原則というか、いままでの既成の考え方なんかにとらわれないで、本来こうあるべきだということを相当率直に展開してきたということです。そういうなかで組合の指導部と組合員との関係にも、すごい信頼が生まれてきましたね。普通、これだけの大闘争となると、そこまでやってどうなるんだとよくまわり

## “労働者が主人公”の誇りをもって

中野 なによりも、今までの日本の労働運動の現状、在り方をみると、だいたい欲求不満の闘争が多いでしょう。

今回も現場の組合員の雰囲気を見てみると、はじめてスッキリとたたかひを貫徹したつていう気持ちになっているんで、やりきつたということは非常に大きくあるんじゃないかと思つています。

たしかにこれだけの闘争をやつて不安や動揺がないといつたらウソになるけれど、やっぱり現場の労働者がスッキリとやりきつたということが何よりも非常に



意味が大きいと思つているわけです。

## 闘う力の源泉

—— こういうすばらしいたたかひのできる力の源泉は、いったいどこにあるのでしょうか。

中野 一つは戦略というか労働組合のもつ路線の問題ですね。われわれは三里塚闘争という千葉の問題であると同時に全国的な政治的な課題と真向うからとり組んで、労農連帯という大きな路線のも

## 決然とやれば必ず労働者はこたえる



ついでに、三月決戦ストライキはすばらしいたかいたたわけですが、今後のたかいたかの方向はかがでしょうか。

中野 一つは、三月ジェット決戦闘争をたたかいぬき、それで処分にもたじろがない動労千葉という成果をひっさげて当面する八一春闘をたたかいぬきたいしストライキもなにもやらないで国労、動労「本部」が屈服してしまっている三十

## 二重のスト破り

がつきないものだと思いますけれど、そのなかでとくに書記長として苦勞なことを話してください。



でいわれるわけだけど、われわれは指導部が決然とやれば労働者はかならずこたえてやりきってくれるというような自信が持ったということですね。

—— こういう大きい闘争には苦勞話

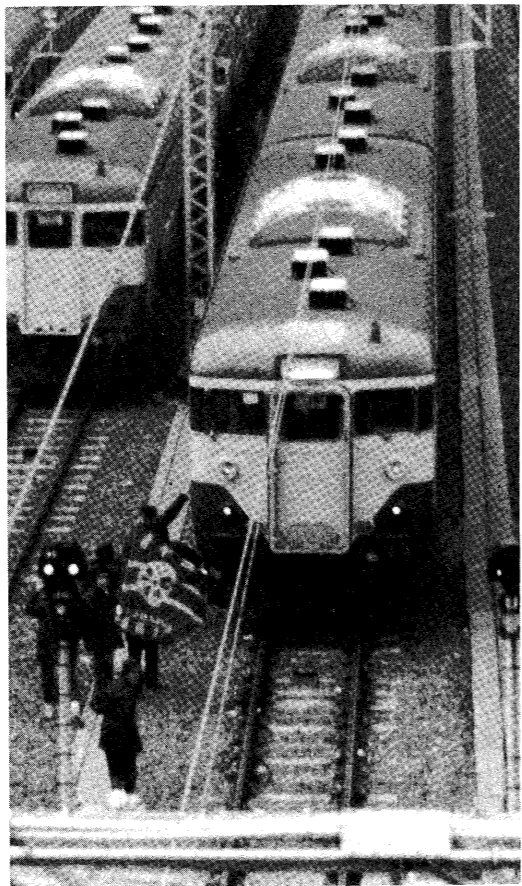
中野 苦勞というわけではないのですけれど、やっぱり敵は権力や国鉄当局だけではないということですね。つまり、公然と動労「本部」の革マルが結託してわれわれの闘争に敵対してくること、国鉄当局と共通の利害である動労千葉解体を策動するというかたができたんで、そこをどうみすえてこのストライキを貫徹していくかということが、一番大きな問題でした。

たとえば、千葉の鉄道管理局の秋山という局長なんかにしても、二月の中旬段階からひんぱんに目黒の動労「本部」にかよっていろいろ打合せするとか、助役機関士の導入のことなんかですね。

現に佐倉の「本部」派の機関士なんか、もう完全に当局の保護の下に、B変仕業なんかまったく超越したような卒先協力ぶりを示しているわけだし、動労「本部」も国労にたいして、B変仕業して総武線を動かそうというような働きかけをしてことわられてしまったとか。

われわれは、そのようなことを全部粉砕してやりきったわけです。そしてそこに動労千葉の底力を発揮しえたと考えているわけです。

—— ところで当局が許せないことに大量の報復処分を準備しているといわれ



ていますけど。

中野 ご存知のように、七九年、八〇年春闘、八〇年秋闘をいっしょにしても国労、動労「本部」は全国的ストライキを二年間やっても首が一人もでないというなかで、われわれはすでにわたし自身と布施組組長が首をさられているわけです。このことを考えると極めて政治的な処分攻撃がかけられてくると思われ

ます。

まあ、自分達が勝手に閣議決定をホゴしておきながら誰も責任をとらないで、当然きわまる行動にでた動労千葉の首をきって、動労千葉の体質改善をはかるなんていうこと自体、まったくもってメチャクチャなわけですよ。

しかしわれわれは、いずれにしても相当数の大量報復がくるであろうということとを天から前提に考えているし、当初から想定してたたかいぬいてきましたからね。この処分攻撃をうけてたって、それとのたたかいはなから動労千葉をもうひとつ、一皮むけた組合にしたいと考えているわけであって、相当長期かつ粘り強いたたかひをもって反撃したいと思っ

ているし、勝負はこの処分攻撃に動労千葉がいささかもたじろがず、よりいっそう団結をかためることができるかにかか

五万人体制反合理化闘争を断固たたかいぬきたいですね。

そしてなによりも、反対同盟の二期工事強行攻撃にたいするたたかいと呼応した第二・第三のジェット闘争を実現していくという決意に燃えていますね。だからわれわれにとってみれば、今度の闘争は八〇年代のたたかひの端緒をきりひらいたにすぎないと思っていますね。

## 本気になれば

最後に一言お願いします。

中野 われわれは、今回のストライキで、ほんとうは社会の主人公たる労働者が全然誇りなんかもね、どこかにすててというか、すてさせられてというか、労働者のたたかう誇りみたいなものを復権させていくこと、つまり労働者というのは、本気になってやれば、ものすごくすばらしいことができるんだと、それだけの力あるんだっていうことを示したかったわけですよ。だからそういう点で、もつともつと誇りをもってその気になればできるんだという決意でがんばってもらいたいと思っています。

# 三里塚と人民の未来をかけた

動労千葉は主張する



## 四つの視点で闘う

わたしたち国鉄千葉動力車労働組合は、三里塚二期工事阻止、ジェット燃料貨車輸送阻止を、つぎの四つの視点を定めて闘ってきました。

第一に、農民としての生活と権利を守り、軍事空港としての三里塚空港に反対して十六年間も闘いぬいてきた三里塚芝山連合空港反対同盟農民と真に連帯すること。

そのことは、「自分たちの利害以外には関わらなかった」といわれて久しい、現在の日本の労働組合の右翼的流れに抗して、労働組合としての本来の原則をとりもどす闘いでもあります。

第二に、沿線住民、乗客、そしてわれわれ国鉄労働者自身の命を守るために闘うこと。

三里塚空港ジェット燃料貨車輸送計画は、「危険性が高い」ために、政府・空港公団自身がかつて一度は否定したものです。しかし、当初予定したパイプラインの埋設工事が住民の反対に遭い、「開港に間にあわない」から、危険を承知で強行するというのです。こんな無謀な計画を認めるわけにはいきません。

第三に、労働強化、要員事情の悪化を許さない反合理化の視点です。

政府と国鉄当局は、「国鉄赤字」の大キャンペーンを通じて不採算部門の切り捨てと経営規模の拡大を、わたしたち国鉄労働者の犠牲のうえにたつて、劣悪な労働条件とまったく不十分な要員のまま強行しようとしています。国鉄再建合理化攻撃の一環としてのジェット燃料輸送計画強行を許すことはできません。

第四に、組織破壊Ⅱ第二マル生攻撃粉碎、反弾圧の視点です。組織破壊を許さず、労働組合としての責務をかけて闘うために、第二マル生攻撃粉碎、弾圧反対の視点を堅持します。

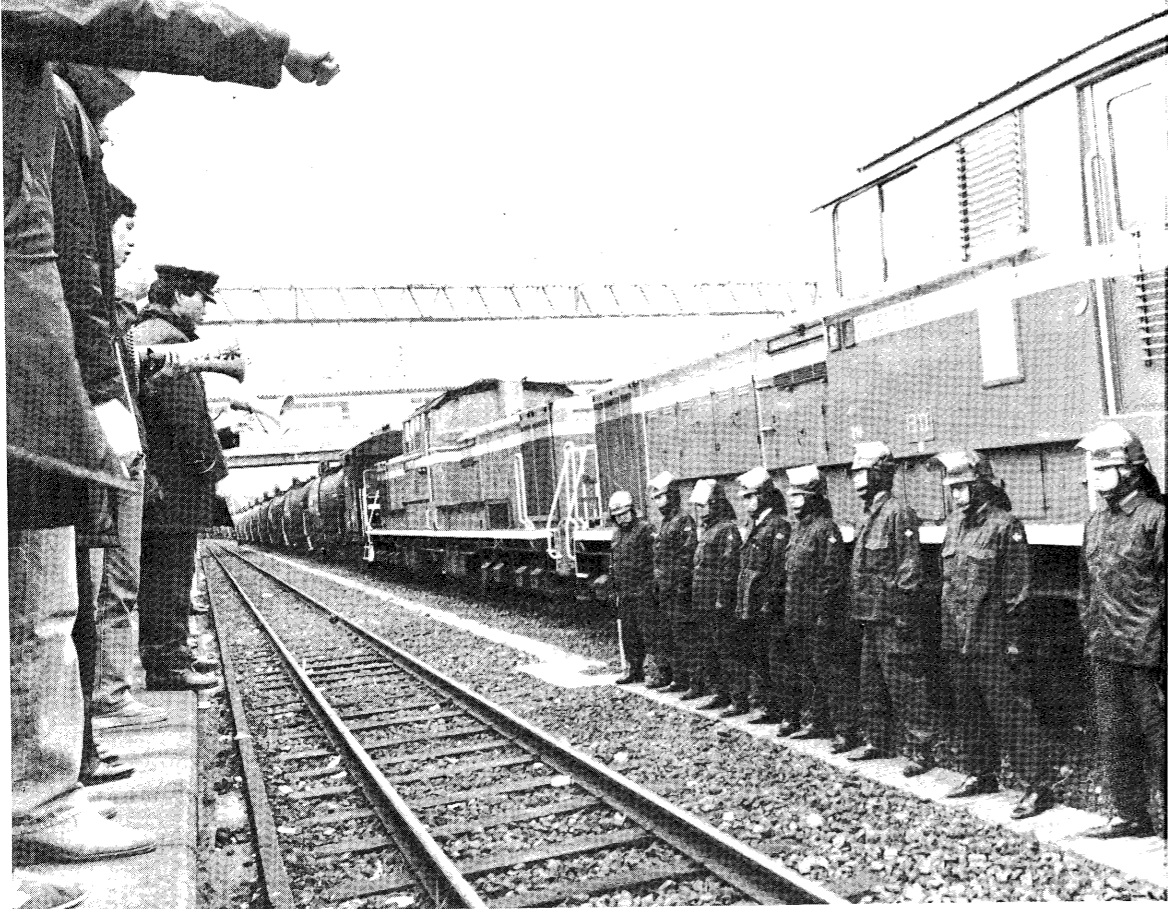
以上、四つの視点に立つわたしたち動労千葉の闘いは正義の闘いであると確信します。全国の闘う労働者、農民、漁民、市民、学生の熱い支援・共闘の輪に支えられて、闘います。



労働者は三里塚  
空港を許せない







労働条件の悪化  
許さない



3.6全面ストへ！  
木原總広止反対  
近外延長阻止・スト破り助役特導入禁止



第二マル生攻撃の  
組織破壊を許さない



# 動労千葉第四回定期大会 大会宣言

われわれは一九八〇年十一月二六、二八日、茨城県・潮来の地において第四回定期大会を開催し、過ぐる一年間の闘いの総括を徹底して行い、その勝利的総括の上になつて、迎えるむこう一年間を「反合・三里塚ジェット闘争を水路とした八〇年代に通用する自前の労働運動」路線の練磨を基本に、その路線の真価をかけて八一・三闘争に総決起し、もつて階級情勢の激動的流動化と力関係の逆転をからとり八〇年代をたくましく闘い抜く方針を満場一致決定した。

ここに、われわれをとりまく情勢は資本主義世界経済の長期かつ深刻な不況に規定され、戦後世界体制の危機はいちだんと深まり、資本主義諸国間の対立と矛盾は、石油、資源、市場の争奪をめぐつてより本格化し、現実には戦争として火をふく激動の過程へと突入している。

日本帝国主義は、この危機と激動の波

及を軍事大国化、改憲、朝鮮・アジア侵略の超反動攻勢をもつて強引に乗りきらんとしている。そして国鉄再建法強行のもと国鉄三十五万人体制攻撃をもつて戦後労働運動の最後の戦闘的岩としてある国鉄労働運動解体の攻撃にうってでてきている。

こうした戦後を画する超反動攻勢の激化のなかで、いまこそ日本労働者人民の歴史的選択をかけた闘いへの決起がもたれられている。

わが労働運動においても民社・同盟を軸とする帝国主義的労働運動の増長、社会党・総評ブロックのそれへの屈服、日共統一労組懇による総評労働運動破壊策動はもとより、動労「本部」革マル反動分子にいたっては自らのセクト的宿命のみ血道をあげ、日共との野合を目論見、いまや国鉄当局の武装親衛隊―国鉄三十五万人体制攻撃の水先案内人になり

下がっている。

われわれは第一に本大会の名をもつて八一・三ジェット燃料貨車輸送延長阻止闘争に動労千葉結成の理念と、組織の真価をかけて総決起することを内外に明らかにする。

もとより八一・三闘争が現下の階級情勢のなかにあつて、平坦な闘いの道であると誰一人として考へてはいない。むしろ険しく荊の道であることも全組合員は認識している。しかし八一・三闘争がもつ偉大な階級的意義と勝利性を確信するがゆえに、われわれは限りなく喜びをもつて闘いに総決起するものである。

八一・三闘争は、なによりも、八〇年代日本階級闘争の命運を決する三里塚闘争の勝利の展望をきりひろくたたかいてあり、さらに暗雲色濃い日本労働運動の現状をつき破り、さしあたり八一・春闘勝利・国鉄三十五万人体制粉砕闘争勝利の突破口をきりひろくことを通して、八〇年代労働運動の戦闘的再生を展望する階級情勢の力関係のダイナミックな転換をかちとる闘いであり、しかも動労「本部」革マル分子の邪悪な動労千葉破壊策動を粉砕し、銚子支部結成―動労大改革に向

けての展望をきりひろく闘いであると確信するからである。

われわれは、第二に、本大会の名をもつて総評加盟志向の方向性を明らかにする。

それはなによりも、動労千葉結成以来労働連帯の旗を堅持し闘い抜き、いまや全国に燎原の火のごとく拡がりつつある三里塚闘争を基軸にすえた労働運動こそが現下の日本労働運動の現状のなかで、労働運動の帝国主義的再編の攻撃を突破こうる唯一の道であると考えるからである。

われわれは、以上の立場に踏まえて、

八一年一・二四総決起集会の大成を突破口に、八一・三ジェット闘争勝利、国鉄三十五万人体制粉砕、大幅賃上げ獲得八一・春闘勝利、動労大改革―戦闘的労働運動の再生をかけて、全組合員・家族の団結をより一層強固にして闘い抜く決意である。

右宣言する。

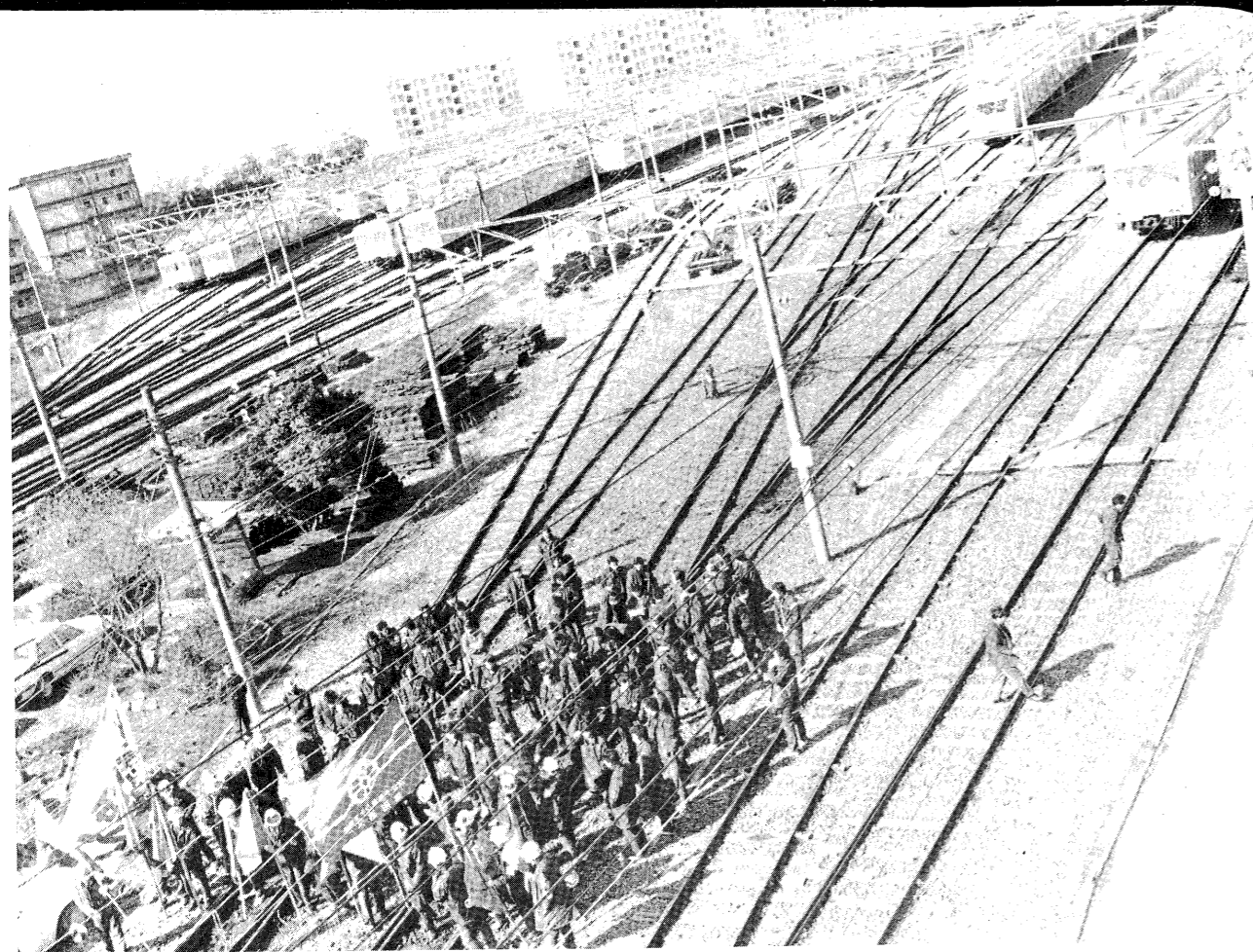
一九八〇年十一月二十八日

国鉄千葉動力車労組

第四回定期大会







# 三里塚農民は 動労千葉と共に闘う

—三里塚芝山連合空港反対同盟の声—



## 動労千葉防衛が 三里塚を左右する

委員長代行  
石橋政次

今年三月、暫定三年の期限切れという閣議決定をほごにしてジェット燃料貨車輸送を再度延長することにたいして、動労千葉は、軍事空港に反対する農民との労農連帯をつらぬき、大ストライキ闘争をうちぬきました。

三年間の暫定貨車輸送という閣議決定を、当然もらなければならぬ当の政府が、パイプラインができないからと、その閣議決定というものをいとも簡単にほごにして、もう三年間暫定貨車輸送を



やるというのだから、まったくデタラメなやり方です。住民を無視した三里塚の空港決定というものが、住民闘争のなかで、欠陥をあらわに表にだしてきているわけです。また、こうした政策のもとで、動労千葉とすべての国鉄労働者に

合理化問題とか、赤字路線廃止の問題だとか、労働者を職場から追放するような案を国鉄がたててきています。

三里塚空港にかんする政府のやり方はデタラメの一語につきると思います。たとえば、今度はあらたに作るまえから赤字とわかっている成田新線なるものの工事をどんでんしているわけです。政府や公団の無軌道無計画な空港建設こそいっさいの元凶です。川上千葉県知事の念書事件がおきたけど、川以上に悪いやつらが、空港の利権にむらがり、金権をバックにでたらめなことをやっているんです。

動労千葉の三月闘争は、いろいろ政府の理不尽で汚ないやり方にたいする正当な怒りの爆発です。だから、動労千葉の



たたかいたいにして、国鉄当局はマスクミなんかを通じて一般利用者をけしかけ逆宣伝をやるうとしたが、不満をぶちまける乗客は一人もいなかったではありませんか。これは、動労千葉への共感がいかにつよかったかということです。

いま国会論議となっている憲法九条のこととか、軍事大国化とか、原発問題など日本の将来をゆさぶるような大きな問題があり、住民運動のなかで三里塚が一番大きな問題となっているけれども、それだけの大きな問題を手をこまねいてみ

ている人が多いなかで、動労千葉のたしかいこそ、労働者のかみです。どうもいまの労働運動というのは右寄り路線に変わりつつあって、たたかえなくなっています。春闘とかの賃金闘争すら勝てないといわれています。やはりいまの労働運動のとりくみ方を根本から変える必要があるのではないのでしょうか。動労千葉が労農連帯という形で、あれだけ弾圧をうけながらもとにかく闘いぬいたんだから、すべての労働者が動労千葉のジェット闘争というのをいい教材にしてやって

いかなないと、結局自分の首に縄かけて自分でひいているようなものだと思います。これは、ひいては、軍事大国化や基地の拡張、憲法九条改悪にも直接つながっていく問題です。

今回、動労千葉への非常に厳しい処分というのがだされました。政府としても威信にかけて、動労千葉をつぶそうとりのだしてきています。

一三〇〇の組織をわれわれの力で守りきるといふことになる、職場に激励だとかいろいろ方法があるでしょうけれど、やっぱり労働組合にとって反対闘争を貫く場合には、一番だじなのは資金面ということになります。われわれ反対同盟の一六年間の闘争のなかでも、全国的に支援・資金カンパというものを訴えて、それが住民のなかに浸透したからこそ一六年間のたたかいを貫けたと思っています。今回、動労千葉にたいする不当弾圧にたいして一三〇〇の組織をガッチリ固めるには、支援も当然のことながら資金援助も十分やらなければならぬと思います。動労千葉を守りきるといふことに、三里塚の問題も大きく左右されてきます。われわれも先頭になってやりますけれど、ぜひとも全国の人に呼びかけてもらって、動労千葉がさらに悔いのない闘争を組めるようなカンパをお願いしたいと、こう思うわけです。



### 再び戦争のキナ臭いにおいが

実行役員  
石井 武

動労千葉のたたかいは、労働組合としてあたりまえのたたかいです。一方的な

燃料貨車輸送の延長に反対する、これは三里塚の百姓が何の相談もなく土地をとりあげられることに反対しているのとまったく同じだと思います。だから、これに処分をするっていうのがそもそもおかしい。動労千葉を壊滅しようとする策謀です。労働者がクビをきられるというのは、百姓が土地をとりあげられるに等しいことで、まったく許しがたいことです。三里塚闘争が始まって以来、動労千葉は唯一、一貫してわれわれと共にたたかってきたわけで、これにたいしては、ほんとうに動労千葉をもちたてていきたいと思っています。国民春闘だとかいつたつて、自らの組合が手をうってしまえば

他の組合が一万つかなくてもかまわないというのが今の春闘で、そういう人たちにももう一度奮起してもらいたいと、今回動労千葉が、労働者はこうあるべきだという手本を示しているわけです。この動労千葉を、処分されました、かわいそうだなで済ましたら、これからの労働運動はダメになってしまうし、ということには国民のほとんどが労働者なんだからその人その人が自分の立場をみじめにするだけなんだと思います。

日本に再び戦争のキナ臭いにおいがしてきているときに、労働者がストをうてなくなつちやたらおしまいです。そういうことを考えたなら、どれほどの処分がでたって心配ないというぐらいのことを全国の皆さんに協力してもらって実現していくということが、全国の労働者や農民の責務でもあると思います。

### 皆んなよくがんばった

婦人行動隊長  
長谷川たけ

動労千葉はよく頑張った。反対同盟もよく頑張った。支援も皆よくたたかっていたから、五日間のストも打てたし、二期阻



### 動労千葉のたたかい受けついで

青年行動隊  
石井新二

偉大な労働者のストライキが貫徹された。動労千葉のストライキは、反対同盟や支援にかけつけた人々だけでなく、全国で見守っている人々によって支えられたたたかいぬかれた。全国の支援するたたかいがある限り、動労千葉のたたかいは勝利するでしょう。

三・一成田集会で約束したように、われわれは助役機関士のスト破りに断固とした弾劾闘争をやりぬき、動労千葉を支持してたたかいぬいた。われわれ一人一人が動労千葉のたたかいを受けついで、燃料を一滴も運ばないたたかいをやりぬかなければならない。これから青年行動隊はそのためについにたたかいぬく。



止・三里塚空港港の力ができた。わたしも六日間連日たたかいた。反対同盟もこれまで出なかつたような人まで参

加した。

青年部が一生懸命やった。佐倉、成田も青年部が先頭になったからあれまでできた。ストは労働者の最終的な武器、そういう決意だったでしょう。貫徹したのは大したものですよ。

四日には五九名のデッチあげ逮捕がありました。動労千葉にも重い処分がでるでしょう。いくら弾圧しても屈服するものではありません。多くの支持する人々がいます。あくまで二期阻止・三里塚空港港までたたかきましょう。

# 動労千葉を 讃える

—— 各界の支援の声



## 労働組合のあたりまえの任務

元総評事務局長

岩井 章

政府の土地取りあげに対する農民の徹底的なたたかいに、労働者、労働組合が全面的に支援するのはあたりまえの任務である。だが、このあたりまえのことが実際はなかなか行なわれないのである。

千葉動労が自らの大きな犠牲を覚悟してジェット燃料の輸送拒否闘争をたたかつたのは、まさにあたりまえの組合としての任務を果たしたのである。

国鉄当局はこのたたかいに大弾圧を加

えて千葉動労の壊滅を迫ってきた。日本の革新を追求する私達労働者、勤労者は、この様な暴挙を見逃すことはできない。あらゆる力をもって彼らを支援したい。力のあるものは力、金をもつものは金を。その金額のいかんを問わず。千葉動労を援助しよう。

## 動労千葉の闘いは当然の行動

物理学者・安全問題研究者

武谷三男

三里塚空港は計画のそもそもの初めから、あらゆるものが何の必然性もない科学的検討に耐え得ないしるものであった。

それを、多くの批判と反対をおしきり、政府の勝手な一方的押しきりで、無理に無理を重ねて強行されたものであった。そのしわ寄せは三里塚及びその関連地域の農民を中心とした住民及び労働者に多大の犠牲を強いてきた。

この空港を受け入れた千葉の政治が如何なるものであったかは、最近の千葉県自民党の腐敗ぶりがよく示している。

農民住民と労働者が連帯してその空港に反対したのは、全く人権の理に合った当然の闘いであった。三里塚空港はつきつきとボロをだし欠陥空港であることが証明されてきた。

その欠陥の重大な一つがジェット燃料輸送問題である。それは根本的に空港の

場所に無理があつたことの現われである。大量のジェット燃料を貨車で運びつづけること自体問題である。

政府は三年前、ジェット燃料貨車輸送は今年の二月をもって打切ると約束したところが三年間を無為に過ごし、今年になってこれを延長すると一方的に取決め

強制してきた。それに対して動労千葉が反対してたちあがったのは当然の行動といふべきである。本来ならば運輸相は、自分たちの失策に対して動労千葉に平身低頭して延長を懇願すべきすじあいではないか。それは逆に、「動労千葉に厳重な処分を」とか「地方に配転してしま

## 労働運動史上 画期的な意義

労働運動評論家  
高島喜久男

動労千葉の三月二日、六日のストライキは、日本労働運動史上画期的な、極めて偉大なたたかいであった。

現在の労働運動が自分達の賃上げしか考えないうえに、今日の退廃した状態が生みだされているそのなかで、動労千葉がみずからの犠牲も省みず、労働連帯をかけて、ストライキで三里塚闘争をたたかつたことの意義は巨大である。反対同盟の農民に連帯してたたかっている全国のたたかいのなかでも、生産点を武器にしてストライキで輸送手段をとめたという点で、最近の労働運動の歴史のなかで初めてのことであり、こうしたたたかいが全国の職場でおこっていくことが求められている。

また、自分が千葉運転区へ激励にいつて、強く感じたことだが、中高年層を含む組合員が、特別の興奮もなく日常生活





の感情をもってストライキに入ったという事、それは動労千葉がこの闘争をくり返したたかえるんだということを実証してみせたという事だ。

これは今後二期工事阻止から三里塚廃港へむけての非常に大きな力になっていく。こんどの闘争は、闘争の終わりではなくて始まりだと思ふ。

いま公労協労働運動をどうつぶしていかが、政府・資本家の攻撃の焦点になっている。公労協を民間大手並みの組合にしてしまおうと、あらゆる手段の攻撃を加えている。その抵抗の拠点が動労千葉だ。

それだけに権力・当局は、いままでの前例に照らしても異常な大規模な弾圧をかけてきた。それは逆に動労千葉の存在自体が、三里塚闘争といまの労働運動にとって、どんな重要な意味をもっているかをしめしている。

今度のストライキは、決してこれで終るのではなく、二度三度四度とつづくたかひの始まりである。それだけにこの動労千葉のたたかひのもっている重要な位置を考えると、どんなことがあってもこの動労千葉を守るために、全国の労働者が全力をあげて支持し支援しなければならぬ。この拠点をつぶさせてはならぬ。

## つねにストできる組織体制を

元国鉄動力車労働組合副委員長  
中江昌夫

労働運動総体が右傾化し、指導自体が政治的な迎合主義におちいつているなかで、今度の動労千葉のたたかひは非常に敵しい状況のなかでたたかわれました。しかしそれは、一つには労働者の潜在的な戦闘性をひきだし、二つめに、いわゆる動労の戦闘的伝統を真につくりだし継承したといえると思います。さらに、労働組合の運動でいばん弱い点は、地域におけるたたかひが単に大衆行動的なもので終わり、職場のたたかひがおろそかになっている点にあると考えているわけですが、今回のたたかひはひとつの新しい地域におけるたたかひの見本であり、その基礎をつくりあげるたたかひだったと思うわけです。労働連帯だけでなく、あらゆる連帯を大きくうちだしていかなくてはじめて日本の労働運動は巨大なものになっていくのではないのでしょうか。動労千葉の三月闘争は、成田問題についてこ

れからのたたかひの出発点を築いたといえると思ひます。

処分問題は、根底的にはスト権奪還のたたかひです。七五年スト権スト以降、ストライキ罪悪感というものが先行してきていて、政治的に小手先の回復しようとして動いてきています。ところが労働者のストライキ権は力によって解決しなければならぬ、基本権奪還闘争というのは弾圧の歴史なんです。ですから、権利闘争とはこうあるべきなんだという方向性を築きあげ、長期に粘り強く反処分闘争を組織していくべきだと思ひます。

苦しくとも、常にストライキができる組織体制をつくりだしていくことです。労働者の武器はストライキなんですから。

## 「基金」運動への決起を訴える

動労ジェット闘争支援共闘会議世話人  
浅田光輝

動労千葉がたたかひぬいた三月ストライキの意義を皆さんに是非とも考えていただきたいと思ひます。

第一には、権力の二期工事着工に大きな衝撃を与えたことです。第二には、全国の労働者に強い感銘を与えました。労働運動は、いまや人民との連帯を失って、企業労働者のエゴイズムに墮落しています。そういう状況のなかで、動労千葉が人民のために、三里塚闘争のために、農



## 二期工事着工を絶対に許さない

動労ジェット闘争支援共闘会議世話人  
北原鈺治

現在政府空港公団は、十月いっぱいには事務手続をすべて終了して、来春ごろには二期工事着工という攻撃が始まっています。これにたいし、反対同盟の木根、東峰、天神峰部落は一丸となつてはねのけ、必死でたたかっています。



三月ジェット決戦ストライキは、動労千葉の皆さんと反対同盟との熱い信頼関係にたつて、どんな革新政党でもできなかったような偉大なたたかひです。

そしてわれわれはジェット燃料貨車輸送を阻止しようとする動労千葉の決意にこたえて、たたかひぬいてきました。

動労千葉の当然の権利であるストライキにたいして、国鉄当局は大量処分をかけてきたけれども、まったく不当です。

動労千葉のたたかひはまさに正義であり、正しいことを世の中に伝えるたたかひです。そして、右傾化をたどる革新政党やストもできなくなりました。組合労働者を再び決起させるものとして、ジェット決戦がたたかわれたと信じています。

われわれは、この動労千葉を守り、二期工事着工を阻止し、三里塚空港廃港のたたかひに必ず勝利する決意です。



われわれは勝った!



これこそ労働者の未来をきりひらく闘いだ

# 日刊 動労千葉

81.2.25  
No.669

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉県市原市二八動力車会館  
電話(五五五)六八〇〇(市原市会館)  
電話(五五五)七〇七〇

## 不退転の決意をもって、三月決戦ストに突入する

本日、国鉄千葉動力車労働組合は千葉県市原市二八動力車会館において第五回臨時大会を開催し、三月一日から政府・国鉄当局が進行せんとする三里塚空港ジェット燃料貨車輸送延長策動を阻止する三月決戦ストライキ方針を通過一致決定した。

われわれは、すでに三月前、すなわち一九七七年十一月三日、三里塚芝山連合空港反対同盟との労働連帯をかけたジェット燃料貨車輸送延長策動に決起したあとの局勢決起集会の熱気と感動を再び呼び覚まし、闘魂を再び燃やして邁進して行く。

われわれは、三年前「バンドル」を握りしめ、鉄路を武器にした闘争をもち、数回にわたるストライキをもつて、政府・空港公社・国鉄当局が願望した「燃料安定供給」を常に脅かしてきた。この労働連帯を軸に押えた労働組合としてのたかひの奮闘と成果こそが、こんどに閣議決定を反古にまで押し戻し、燃料輸送延長に同意する政府、空港公社、国鉄当局を追いつめ、文字どおり三月決戦たしめたに違いない。それゆえに政府・国鉄当局は、三月決戦ストライキの一点のイスタグラムも、階級的意識をかきとぎ、三月を前にして、わが労働者のたたかひを屈服すべく、ありとあらゆる反動的攻撃をかけた。

それは、中野書記長への解雇攻撃を始めとして、「五五・一〇改」攻撃、「役員運用合理化」攻撃、四・一五、八〇春闘破壊をねらった動労「本部」革マル反動分子による津田沼警察署口裏とた布産組幹部への解雇攻撃。しかも、この諸攻撃と軌を一にした「動労本部」革マル反動分子による様々な労働者組織破壊攻撃等々である。しかし、われわれは、この密接する反動をことごとく粉砕し、組織を強化し、団結を保持しついできた。それは、三月決戦ストライキに組織の命運をかけるという一点に集約するものとして、かつ、これまで偉大な勝利の成果であると確信する。

われわれは、いま三月決戦ストライキに政府・国鉄当局・動労「本部」革マル反動分子が一体となして断末魔、最後のあがきともいえるスト破り助役機士導入阻止闘争の真只中にある。この助役機士導入にかけた政府の攻撃は、国鉄史上類例のない超反動的、「超法規的」なものである。それはあらゆる挑発攻撃をかかさず三月決戦ストライキに庄厳な組織化を促している。だが、われわれの闘魂と熱気、燃えたる組織的反抗の闘いは、確実な国家権力・国鉄当局を破滅し、スト破り助役機士導入を阻止し、組織的反抗の闘いを「本部」革マル反動分子を追いつめ、一歩一歩勝利の前進をもちかたえている。

われわれは、動労「本部」革マル反動分子との二年間におよぶ組織闘争でうらやまを奮然と発露して来たがうときがきた。そしてなによりわれわれは、動労千葉二〇〇名組合員の階級的保持と労働連帯をかけて、三月決戦ストライキの機は熟した。

この九つは、八一年一八三年過程の鈴木反動内閣が進める軍事大内閣、改憲攻撃を粉砕するたかひであり、三里塚二期工事阻止闘争の突破口をひらいたたかひであり、日本労働運動の右傾化・産業関係団体の流れをよそとめ、階級的転換をもち、動労大改革を実現する重なるたかひであると言語する。

われわれは、文字どおり不退転の決意をもって三月決戦ストライキのたかひに敢然として突入することを宣言する。

一九八一年 二月二十三日 才五回動労千葉臨時大会

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！



### 約束ホゴを徹底追及 強力戦術で闘争へ

上野駅、市原市二八動力車会館  
二月二十五日(金)午後七時

国鉄千葉動力車労働組合は、二月二十五日(金)午後七時、千葉県市原市二八動力車会館において第五回臨時大会を開催し、三月一日から政府・国鉄当局が進行せんとする三里塚空港ジェット燃料貨車輸送延長策動を阻止する三月決戦ストライキ方針を通過一致決定した。

われわれは、すでに三月前、すなわち一九七七年十一月三日、三里塚芝山連合空港反対同盟との労働連帯をかけたジェット燃料貨車輸送延長策動に決起したあとの局勢決起集会の熱気と感動を再び呼び覚まし、闘魂を再び燃やして邁進して行く。

われわれは、三年前「バンドル」を握りしめ、鉄路を武器にした闘争をもち、数回にわたるストライキをもつて、政府・空港公社・国鉄当局が願望した「燃料安定供給」を常に脅かしてきた。この労働連帯を軸に押えた労働組合としてのたかひの奮闘と成果こそが、こんどに閣議決定を反古にまで押し戻し、燃料輸送延長に同意する政府、空港公社、国鉄当局を追いつめ、文字どおり三月決戦たしめたに違いない。それゆえに政府・国鉄当局は、三月決戦ストライキの一点のイスタグラムも、階級的意識をかきとぎ、三月を前にして、わが労働者のたたかひを屈服すべく、ありとあらゆる反動的攻撃をかけた。

それは、中野書記長への解雇攻撃を始めとして、「五五・一〇改」攻撃、「役員運用合理化」攻撃、四・一五、八〇春闘破壊をねらった動労「本部」革マル反動分子による津田沼警察署口裏とた布産組幹部への解雇攻撃。しかも、この諸攻撃と軌を一にした「動労本部」革マル反動分子による様々な労働者組織破壊攻撃等々である。しかし、われわれは、この密接する反動をことごとく粉砕し、組織を強化し、団結を保持しついできた。それは、三月決戦ストライキに組織の命運をかけるという一点に集約するものとして、かつ、これまで偉大な勝利の成果であると確信する。

われわれは、いま三月決戦ストライキに政府・国鉄当局・動労「本部」革マル反動分子が一体となして断末魔、最後のあがきともいえるスト破り助役機士導入阻止闘争の真只中にある。この助役機士導入にかけた政府の攻撃は、国鉄史上類例のない超反動的、「超法規的」なものである。それはあらゆる挑発攻撃をかかさず三月決戦ストライキに庄厳な組織化を促している。だが、われわれの闘魂と熱気、燃えたる組織的反抗の闘いは、確実な国家権力・国鉄当局を破滅し、スト破り助役機士導入を阻止し、組織的反抗の闘いを「本部」革マル反動分子を追いつめ、一歩一歩勝利の前進をもちかたえている。

われわれは、動労「本部」革マル反動分子との二年間におよぶ組織闘争でうらやまを奮然と発露して来たがうときがきた。そしてなによりわれわれは、動労千葉二〇〇名組合員の階級的保持と労働連帯をかけて、三月決戦ストライキの機は熟した。

この九つは、八一年一八三年過程の鈴木反動内閣が進める軍事大内閣、改憲攻撃を粉砕するたかひであり、三里塚二期工事阻止闘争の突破口をひらいたたかひであり、日本労働運動の右傾化・産業関係団体の流れをよそとめ、階級的転換をもち、動労大改革を実現する重なるたかひであると言語する。

われわれは、文字どおり不退転の決意をもって三月決戦ストライキのたかひに敢然として突入することを宣言する。

一九八一年 二月二十三日 才五回動労千葉臨時大会

## 三塚-ジェット闘争貫徹「国鉄35万人体制」粉砕



三塚-ジェット闘争貫徹「国鉄35万人体制」粉砕

### 角坂理事が目録

山武町で 空港研究会

今春から下準備 見返り対策、は期待薄

滑走路、年内着工へ

角坂理事は、二月二十五日、山武町で「空港研究会」を開催し、三里塚二期工事阻止闘争の突破口をひらいたたかひであり、日本労働運動の右傾化・産業関係団体の流れをよそとめ、階級的転換をもち、動労大改革を実現する重なるたかひであると言語する。

## あらゆる反動をうちくだいて 奮ついに全線ストに突入

### 動労千葉 三〇〇の底力を見よ

81.3.6 No.682

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉県市原市二八動力車会館  
電話(五五五)六八〇〇(市原市会館)  
電話(五五五)七〇七〇

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！

われわれは、二月二十五日(金)午後七時、千葉県市原市二八動力車会館において第五回臨時大会を開催し、三月一日から政府・国鉄当局が進行せんとする三里塚空港ジェット燃料貨車輸送延長策動を阻止する三月決戦ストライキ方針を通過一致決定した。

われわれは、すでに三月前、すなわち一九七七年十一月三日、三里塚芝山連合空港反対同盟との労働連帯をかけたジェット燃料貨車輸送延長策動に決起したあとの局勢決起集会の熱気と感動を再び呼び覚まし、闘魂を再び燃やして邁進して行く。

われわれは、三年前「バンドル」を握りしめ、鉄路を武器にした闘争をもち、数回にわたるストライキをもつて、政府・空港公社・国鉄当局が願望した「燃料安定供給」を常に脅かしてきた。この労働連帯を軸に押えた労働組合としてのたかひの奮闘と成果こそが、こんどに閣議決定を反古にまで押し戻し、燃料輸送延長に同意する政府、空港公社、国鉄当局を追いつめ、文字どおり三月決戦たしめたに違いない。それゆえに政府・国鉄当局は、三月決戦ストライキの一点のイスタグラムも、階級的意識をかきとぎ、三月を前にして、わが労働者のたたかひを屈服すべく、ありとあらゆる反動的攻撃をかけた。

それは、中野書記長への解雇攻撃を始めとして、「五五・一〇改」攻撃、「役員運用合理化」攻撃、四・一五、八〇春闘破壊をねらった動労「本部」革マル反動分子による津田沼警察署口裏とた布産組幹部への解雇攻撃。しかも、この諸攻撃と軌を一にした「動労本部」革マル反動分子による様々な労働者組織破壊攻撃等々である。しかし、われわれは、この密接する反動をことごとく粉砕し、組織を強化し、団結を保持しついできた。それは、三月決戦ストライキに組織の命運をかけるという一点に集約するものとして、かつ、これまで偉大な勝利の成果であると確信する。

われわれは、いま三月決戦ストライキに政府・国鉄当局・動労「本部」革マル反動分子が一体となして断末魔、最後のあがきともいえるスト破り助役機士導入阻止闘争の真只中にある。この助役機士導入にかけた政府の攻撃は、国鉄史上類例のない超反動的、「超法規的」なものである。それはあらゆる挑発攻撃をかかさず三月決戦ストライキに庄厳な組織化を促している。だが、われわれの闘魂と熱気、燃えたる組織的反抗の闘いは、確実な国家権力・国鉄当局を破滅し、スト破り助役機士導入を阻止し、組織的反抗の闘いを「本部」革マル反動分子を追いつめ、一歩一歩勝利の前進をもちかたえている。

われわれは、動労「本部」革マル反動分子との二年間におよぶ組織闘争でうらやまを奮然と発露して来たがうときがきた。そしてなによりわれわれは、動労千葉二〇〇名組合員の階級的保持と労働連帯をかけて、三月決戦ストライキの機は熟した。

この九つは、八一年一八三年過程の鈴木反動内閣が進める軍事大内閣、改憲攻撃を粉砕するたかひであり、三里塚二期工事阻止闘争の突破口をひらいたたかひであり、日本労働運動の右傾化・産業関係団体の流れをよそとめ、階級的転換をもち、動労大改革を実現する重なるたかひであると言語する。

われわれは、文字どおり不退転の決意をもって三月決戦ストライキのたかひに敢然として突入することを宣言する。

一九八一年 二月二十三日 才五回動労千葉臨時大会

社説

労組の限界を超えた千葉動労

千葉ローカル線の労働争議は、この冬、労組の限界を超えた。...

千葉ローカル線の労働争議は、この冬、労組の限界を超えた。...

助役機関工線見に対する 勤労佐倉支部の見解
全組合員の手紙
支部は千葉地本指針を以てシエム問題の交渉を...

無意味がノドは組合員に犠牲を強いるだけ
全組合員の手紙
千葉動労は「三里塚労働争議」を以て...

交渉速報
勤労千葉地本佐倉支部
基本要件について
1. 労働安全対策...

成田燃料 輸送スト 千葉動労に厳しい処分

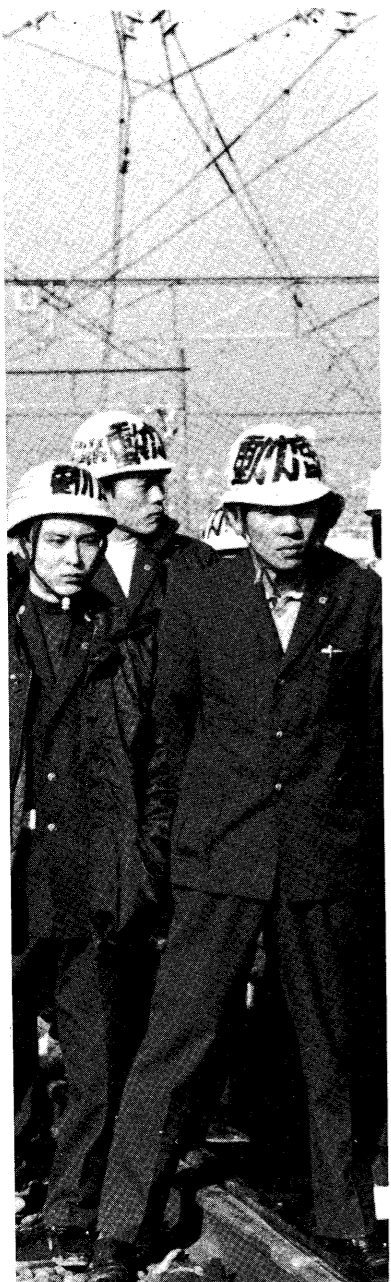
解雇4人含む225人

組合 6日から減速闘争

千葉動労は、成田燃料輸送ストの厳罰処分をめぐり、...

成田燃料輸送ストの厳罰処分をめぐり、...

政治ストに 当り強い姿勢
国鉄労組は、...



にっぽん博物誌
井上ひさし



# 「動労千葉ジェット燃料 輸送阻止闘争支援基金」 の運動を訴える



国鉄千葉動力車労働組合は、成田空港

へのジェット燃料暫定貨車輸送期間の期限切れを迎えて、国鉄当局による輸送業務延長の強要を拒否し、二月下旬から三月初めにいたる一六日間、当局のスト破り助役機関士導入にたいする抵抗にはじまって、五日間のストライキに起ちあがり、二四時間の全線全面ストライキによる最大限の実力行使にいたる果敢な闘争を敢行しました。動労千葉一三〇〇の労働者が一人の落伍者もなく、打って一丸となつてたつたこのストライキは、いま三里塚農民の頭上にのしかかる成田空港二期工事の強行着工計画に強力な衝撃をあてるものであり、三里塚廃港への道を大きく切りひらくものであるとい

えるでしょう。

日本の労働運動は、すでに久しく、人民の抵抗の原点を喪失して、企業内賃金要求のみならずからをとじこめる運動に終始してきました。その結果、労働組合の運動は、資本の圧力に屈して、とめどもなく進められる合理化攻勢に歯止めをかけることもできず、かえってそれに迎合する姿勢をあらわにし、しかも今日では賃金の要求さえも実現しえず、労働者の実質賃金低下傾向にたいして、大衆の不満をたたかに組織しようとすることもなしえない状態にあります。これは、大衆の実力行動を封じこんで、資本家との談合のみを事とした組合運動がみずから招いた不可避的な結果であります。

そういうなかで、いま、日本の軍事大国化を実現しようという動きが、政府当局者によって公然とおし進められています。徴兵制、核兵器保有、武器輸出も、政府・財界から、公然と声あげられはじめています。権力者は、みずからのつくる秩序のなかに労働者・人民をとじこめて、大衆の抵抗力を無力化し、徴兵制もともなう軍事大国化を、人民の犠牲のうえに強行しようという意図が明白です。これをそのままに見過していいはずがありません。民衆のなかに不安の声がたかまってきています。その先頭になつて、有効な抵抗の行動を組織的に展開しうるのが労働運動であつたはずで、民衆のなかに、労働運動にたいする期待はいま

も根強く持続しています。だが、権力と資本のつくる秩序にみずからを組みこんでしまった今日の既成の労働運動に、いったい何が期待できるでしょうか。

動労千葉が、三里塚農民に連帯してたかつた今日のストライキは、そのような労働運動の現状において、人民の苦悩を一身になうあるべき労働運動の方向を、組織をかけて全国の労働者・人民にさし示したものであるべきでしょう。ジェット燃料輸送阻止を組合の重要な目標の一つとする動労千葉は、燃料輸送開始を強要された七八年三月以来、数次にわたるストライキ・減産闘争を敢行し、その都度組合幹部の免職を含む多数の懲戒処分にあたってきました。

今回の闘争は、かならずや、動労千葉

にたいする報復攻撃を、一段と強めるでしょう。当局は、組合指導者にたいする大量の報復処分という拳に出ることでありましょう。

もとより、一三〇〇が一体となつた動労千葉は、そのような報復にびくともするものではありません。それは、さらによりいっそう、組合員の戦闘的な団結を強めるのに役立つだけでしょう。しかしながら、処分がふえればそれだけ、組合の財政負担を圧迫し、闘争のための直接の資金に影響することはたしかな事実です。当局の処分攻撃のねらいもそこにあります。

私たちは、八〇年代の労働運動の戦闘的再生の願いをこめて、動労千葉にたいする不当処分に反対し、ジェット闘争を支援する多くの人びとによって動労千葉を財政的に支える運動をよびかけます。この運動を、「動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金」と名づけます。全国の心ある人びとによって、それぞれの貧者の一燈を無数に寄せられんことを、切に期待します。

一九八一年三月

よびかけ人

浅田 光輝 動労ジェット闘争支援共  
関会議世話人

石田 有全 元全日農委員長

石橋 政次 三里塚芝山連合空港反対  
同盟副委員長

市川 誠 元総評議長

井上 正治 九州大学名誉教授

岩井 章 元総評事務局長

北原 鉦治 動労ジェット闘争支援共  
関会議世話人

佐藤 芳夫 全造船石川島分会委員長

清水 慎三 労働運動評論家

高島喜久男 労働運動評論家

武谷 三男 物理学者、安全問題研究  
家

中江 昌夫 元国鉄動力車労働組合副  
委員長

永井 満 淡路国際空港淡路町反対  
期成同盟代表

西村 卓司 三菱長崎造船労働組合副  
委員長

長谷川英憲 杉並区議

羽仁 五郎 歴史家

樋口 篤三 『労働情報』編集長

前田 俊彦 三里塚「廃港」要求宣言  
の会

増山 太助 『新地平』主幹

八重樫友美 全金本山労働組合委員長

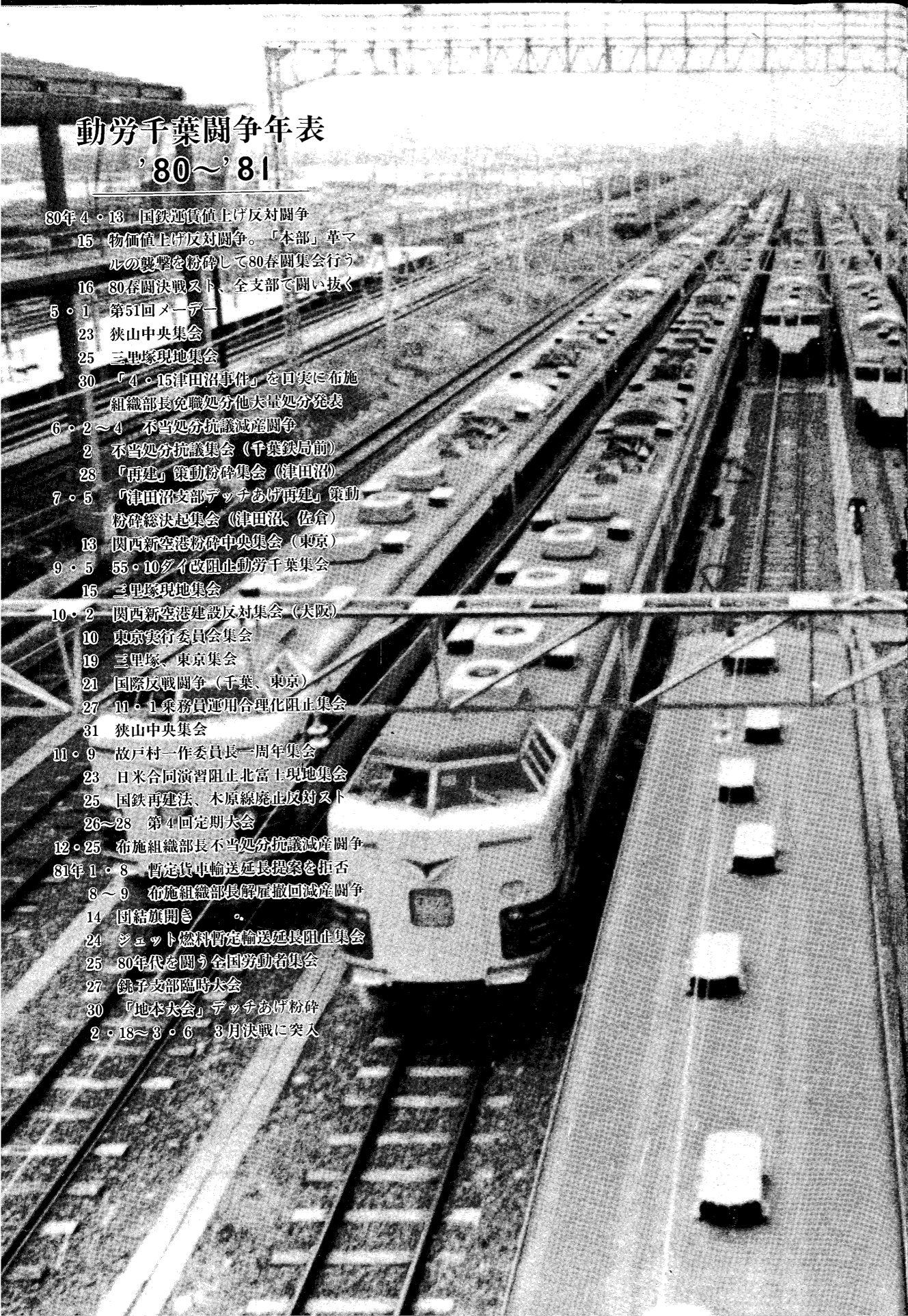
横山 好夫 全石油ゼネラル石油精製  
労働組合事務局長

(アイウエオ順 三月二日現在)



# 動労千葉闘争年表 '80~'81

- 80年4・13 国鉄運賃値上げ反対闘争
- 15 物価値上げ反対闘争。「本部」革マルの襲撃を粉砕して80春闘集会行う
- 16 80春闘決戦スト、全支部で闘い抜く
- 5・1 第51回メーデー
- 23 狭山中央集会
- 25 三里塚現地集会
- 30 「4・15津田沼事件」を口実に布施組織部長免職処分他大量処分発表
- 6・2~4 不当処分抗議減産闘争
- 2 不当処分抗議集会（千葉鉄局前）
- 28 「再建」策動粉砕集会（津田沼）
- 7・5 「津田沼支部デッチあげ再建」策動粉砕総決起集会（津田沼、佐倉）
- 13 関西新空港粉砕中央集会（東京）
- 9・5 55・10ダイヤ改正阻止動労千葉集会
- 15 三里塚現地集会
- 10・2 関西新空港建設反対集会（大阪）
- 10 東京実行委員会集会
- 19 三里塚、東京集会
- 21 国際反戦闘争（千葉、東京）
- 27 11・1乗務員運用合理化阻止集会
- 31 狭山中央集会
- 11・9 故戸村一作委員長一周年集会
- 23 日米合同演習阻止北富士現地集会
- 25 国鉄再建法、木原線廃止反対スト
- 26~28 第4回定期大会
- 12・25 布施組織部長不当処分抗議減産闘争
- 81年1・8 暫定貨車輸送延長提案を拒否
- 8~9 布施組織部長解雇撤回減産闘争
- 14 団結旗開き
- 24 ジェット燃料暫定輸送延長阻止集会
- 25 80年代を闘う全国労働者集会
- 27 銚子支部臨時大会
- 30 「地本大会」デッチあげ粉砕
- 2・18~3・6 3月決戦に突入



## 規約

動労千葉ジェット燃料  
輸送阻止闘争支援基金

第一条 本基金の名称は「動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金」（略称「動労千葉支援基金」とする）とする

第二条 本基金の目的は動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争の犠牲者を救済することにある。ただし、第五条に定める幹事会が決定した場合に限り本基金を動労ジェット燃料輸送阻止闘争に支出することができる

第三条 本基金の財源は動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争を支援する全国のあらゆる人びと、グループ、団体による一時拠金と毎月の定額拠金とをもってまかなう。その拠金の細目は別に定める

第四条 本基金の会員は、第三条に定める拠金を行う人びと、グループ、団体とする

第五条 本基金の管理運営は、幹事会が行う。幹事は本基金のよびかけ人のなかから互選する。幹事会は幹事によって構成し代表幹事一名を置く

第六条 本基金の会計監査は、国鉄千葉動力車労働組合の会計監査員に委嘱する

第七条 幹事会のもとに事務局を設ける。事務局は千葉県千葉市要町二八動力車会館内に置く

第八条 本基金の収支は、会員に報告する。なお、拠金者の秘匿は保障する

第九条 この規約の改廃は、幹事会において行うことができる

一九八一年三月十八日 よびかけ人による設立のための会議で採択

## 拠金要綱

動労千葉ジェット燃料  
輸送阻止闘争支援基金

一、一時拠金は一口一万円とします。一人につき一口以上できるかぎり多くの口数の拠金を切望します

二、毎月の定額拠金は一口一千元とします。一人一口以上の拠金を歓迎することとは右と同様です。毎月の月末までに払いこんで下さい

三、一人一口以下でも歓迎します

四、個人による拠金のほかにグループ、団体ごとの一括による拠金の方式もおすすめします

五、拠金の払いこみ先は「千葉県千葉市要町二八動力車会館内動労千葉ジェット燃料輸送阻止闘争支援基金事務局」です

六、払いこみの便宜のために振替口座を開設します

七、希望のある場合には領収書を発行します。その旨お申し出下さい

八、その他拠金についてのお問い合わせは、右の事務局あてにお願いいたします

# 動労千葉決戦ストライキ

1981年3月ジェット燃料延長阻止闘争

一九八一年四月二〇日発行 動労千葉ジェット燃料延長阻止闘争支援基金事務局 千葉県千葉市要町二一八 動力車会館内

